

「本質的な問い」（カリキュラムを構成する質問の三つの階層）の考え方を参考に、  
「1時間の道徳科の授業を貫く問い」を立てて、単元計画を構想する準備をしてみましょう。

中学校・第3学年

道徳科

教材名【内容項目】  
一冊のノート『私たちの道徳』【C14 家族愛, 家庭生活の充実】

### ① 本質的な問い（何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

#### 家族って何なのだろう？

(C 主として社会や集団との関わりに関すること)

### ② 授業を貫く問い（1時間の道徳科の授業を通して考え深めていく「問い」）

#### 家族の一員として、どのような思いで関わっていけばよいのだろうか？

### ③ 個別の問い 個別の問い（1時間の道徳科の授業における発問構成）

- みんなにとって、家族とはどんなもの？
- 擦れ違う祖母に話し掛けられた時、僕はどうして知らん顔をして通り過ぎたのでしょうか？
- 父に何も言えなくなった僕は、どんなことを考えていたのでしょうか？
- ◎祖母と並んで草取りをする僕は、どんなことを考えていたのでしょうか？
- 今日の授業から、家族についてどのようなことを考えましたか？

- (1) 国語科「百科事典少女」  
登場人物の言動などから、家族の在り方について考え、意見をもつ。
- (2) 道徳科「一冊のノート」
- (3) 技術・家庭科（家庭分野）「家族・家庭や地域との関わり」  
これからの自分と家族との関わりに関心を持ち、家族関係をよりよくする方法を考える。
- (4) 学級活動「卒業式に向けて」  
3年間の中学校生活を振り返り、自分を支えてくれた家族や友人との関わりについて振り返る。

各教科等との  
関連を図る